



フィリピンの若者への 持続可能な消費の提唱

とくしま国際消費者フォーラム2022

ルース・B・カステロ
貿易産業省 事務次官
フィリピン共和国



目次

- 01 **PAP4SCPにより持続可能な社会を目指すフィリピンのビジョン**
持続可能な消費のためのフィリピン政府のビジョンとゴール、制度上の準備
- 02 **教育上の取り組み**
フィリピンにおける持続可能な消費に向けた国レベルの進行中の取り組み
- 03 **ギャップと課題**
フィリピンの若者に持続可能な消費を奨励する上でのギャップや課題
- 04 **未来に向けて**
フィリピンおよびASEANにおいて持続可能な消費の推進を成功させるための
勸奨と将来計画



持続可能な社会に
向けた
フィリピンの
ビジョン

“フィリピン人は、現世代も後世代も
しっかりと根付いた (matatag)
快適で (maginhawa)
安全な生活 (panatag na buhay)
を享受する。

持続可能な消費と 生産のための フィリピン行動計画

PAP4SCP



優先的な行動

- (a) 政策と規則
- (b) 研究開発、イノベーション、テクノロジー
- (c) インフラ
- (d) 推進と教育

目的

消費者の意識を高め、エコラベルシール付き製品への選好を促進する。

方法

選択肢を操作する戦略により、消費者が持続可能性の低い製品や包装素材、特に使い捨てプラスチックを拒否するよう奨励する。

方法

短期的には、さらに多くの資源回収施設を設置してゴミの分別処理とリサイクルを奨励する。

長期的展望

サーキュラーエコノミーの原則に合致する革新的なテクノロジーの開発、導入により、ゼロ・ウェイストに移行する。

これまでに行なったこと フィリピンにおける教育的な/推進のための取り組み



ASEAN消費者保護委員会 (ACCP-ASEAN) SCツールキット (SCT) プロジェクト

このツールキットの目的は、持続可能な消費を支援する公共政策のベストプラクティスやモデルを参考にしながら持続可能な消費を推進するようにASEANの消費者保護当局を導くことである。ツールキットはまた、消費者保護当局が消費者行動に影響を与えるためのさまざまな方法を比較したり、革新的な政策を立案したりする際の資料として利用することも可能である。



若い消費者の e-フォーラム (CYeF)

CYeFは、持続可能な消費のための運動に若者が関わることの重要性を考慮して、2021年に立ち上げられた。非公式な調査によると、Z世代とミレニアル世代は他世代よりも環境問題への意識が高い。「#若いグリーンな消費者」をテーマとした第6回CYeFは、独自の取り組みを通して持続可能な解決策を推進する若者グループに焦点を当てた。



持続可能性 ソリューション・エクス チェンジ(SSX).

これは、国内にある世界の主要産業に持続可能な慣行、資源、テクノロジーを採用するように働きかける初のプラットフォームである。SSXの目的の一つとして、さまざまな情報入手の手段を提供し、信頼のおける持続可能性の専門家や提唱者から学ぶことを可能にする。



これまでに行なったこと フィリピンにおける教育的な/推進のための取り組み



消費者ケア・ウェビナー・シリーズ (CCWS)とKonsyumer At Iba Pa

CCWSは、一般大衆の権利・責任意識のさらなる強化を目的としたDTI-CPG(貿易産業省・消費者保護グループ)の情報発信手段の一つである。持続可能な消費と生産に関するテーマを複数のエピソードで扱っている。

KATBPのラジオ番組はDTIによる消費者教育番組で、気候変動と持続可能な消費について議論するために気候変動委員会(CCC)が招かれた。



気候科学若者プログラム

気候科学の最新情報を提供して、気候変動適応・緩和についての若者の知識を増やすことを目的とするプログラム。



ゴミの現金化プログラム

このプログラムでは、若者を含む参加者が資源ゴミや使い捨てプラスチックを環境ポイントに変換し、貯まったポイントでbXTRAというアプリから食品やその他の商品、サービスを購入したり、Bayadというアプリで電気、水道、インターネット接続などの料金を支払ったりすることができる。



これまでに行なったこと フィリピンにおける教育的な/推進のための取り組み



環境教育モジュール3本の転換

NPO団体「ティーチ・フォー・ザ・フィリピン」との提携により、コカ・コーラ財団はその環境教育モジュールの3本を、さまざまな新しいモード(チャットとSMSによるディスカッション・ガイド、独学モジュール、セッション・ワークシート、オンライン配信のためのビデオ指導など)で配信できるようにする転換を支援している。



キャンプ・カリカサン

キャンプ・カリカサンは、世界自然保護基金(WWF)フィリピンがグローブと提携して環境教育のために作ったネット上のデジタル資料センターで、その目的は学生と若者、教師、学校、そして一般の人々の環境意識を高め、環境についての理解を向上させ、環境スチュワードシップを強化することである。



カリカサン博物館

カリカサン博物館はエプソンとWWFフィリピンが立ち上げた事業で、すべての人にとって楽しくわかりやすい双方向体験により地球環境の現状を学び発見することを目指している。このバーチャル博物館は、3Dのシミュレーション体験を通して気候変動を取り上げ、重要なテーマやトピックについて具体的で実際にその場にいるような解説を提供する。





ギャップと課題

政策

政策の枠組みが弱い
既存の政策が実践されていない

支持活動

持続可能な消費についての意識、
理解度が低い
アクセスできる情報が不十分

消費者行動

若い消費者の行動の変化

市場参加

社会や環境に対する責任への
企業のコミットメント
持続可能な製品やサービスが限られている

未来に向けて



- 教育カリキュラムに消費者保護と持続可能な消費・生産を組み入れる



- 消費者団体、学术界、企業、その他のステークホルダーとのさらなる連携

ご清聴ありがとうございました。



DTI Consumer Care